



イノプロム 2017
日本側主催分科会③「環境・省エネ分野における協力」



2017年7月5日現在

日本では多くの産業分野、また都市開発においてエネルギー効率改善を促すために、高度な省エネ技術の普及が進められてきた。また、この過程において環境分野での技術、あるいは新エネルギーの分野でも大きな発展が見られ、現在の日本の産業基盤を支えるに至っている。脱エネルギー資源依存を掲げ、製造業の振興を目指すロシアにとっても生産及び都市インフラにおけるエネルギー効率の改善、再生可能エネルギーの活用、環境配慮型の経済発展は重要な課題であり、日露経済協力の一角を担い得る。本分科会では、このような前提の下に、以下の3点について議論を行いたい。

- －エネルギー効率改善に係る先端技術
- －経済発展に伴う環境負荷の軽減
- －再生可能エネルギーの活用とその可能性

会議名：日本側主催分科会「環境・省エネ分野における協力」

日時：2017年7月11日（火）14：00-15：30

場所：国際展示センター「エカテリンブルグ EXPO」
第4パビリオン/ホール4

モデレーター：渡邊 誠 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）理事

パネリスト： エフトゥホフ 産業商業省次官
石井 啓介 東洋エンジニアリング 執行役員/事業開発本部長
ドゥダレワ 中央連邦管区地域間社会経済協会 廃棄物取扱い調整評議会議長
荒井 正人 京三製作所 執行役員/交通機器事業部
駒井 えみ 駒井ハルテック 執行役員/環境事業部
新井 俊一 三菱重工環境・化学エンジニアリング ロシア・GIS 総代表

会議形式：ダボス形式（写真参照）

言語：日本語及びロシア語（同時通訳）

参加者数：60～80名



昨年の分科会の様子